

草枕のうへといへり	おほきの同	郭公	紅葉	かむみ	豊前	あづさゆみひく
ふとよ國のゆふのかみをゆふ山	くたみ同	ゆふぬる雲	あら同	しばつ	同山	或もつ
まつら肥前ひれふる山	あさち紅葉	もも舟の	うつかた	紅葉	たかし	ほのうつかた
のどか万十一	かの同	うゑかた同	みる	しけ	谷に山	ふき有歌也
いつへの越中歟	しま一説伊與國歟	いそべの万十一	やの、かみ	つ露	霜	万十、
あしくまるはかぜ万四、ゆづ	あかみ	万十四、くれかり、	こもち	万十四	いかづち	三万
歌万	このもと万十四	しほひの万十	うらの、万十四	いはき	万十二	あしき
石上乙配	いほへ或只紫山を云歟	かりのかりがれ	紅葉	このきの	万五	よこの
万十四	あづさゆみよこの	おとこ山	八幡始古今道	ふか草	古今	今
勝延様々	かさどり同帖、山古今の忠かきどり山	すみがまよめりと、在清輔抄、	うち喜	同古	撰	古
おとは同	古やましな貫之	くらぶ是則古敏行	ときは同	古	淑望	かめ同古
をしほ同	大平原也	まつのお同	くらま同	撰	中興女	は、そ同
はな同	拾遍昭	たかをの同	あたご	堀河院	清輔抄	みがはら
あはた同	いはくら有憚	あらしの同	拾公任	とりべ	有憚	拾
同後拾	をの同	いなり同社	後恵慶	すぎ	あさひ	同古
元輔式部	をの同	たかまの同	古歌	はつかの	攝	匡房
ふしみ同	新古	いはせ伊勢歌	後	しほの	甲	さ
ち尾後撰	すゝか伊勢	後撰	しほの	ちどり	さ	し
ら後撰	河政	尾關	山から	衣	さ	や
ほくら同	師尹公	後撰	み	をの	な	か